

BUG

〒601-8036 京都市南区東九条松田町 62
NPO 法人日本自立センター
「ワークス共同作業所」
TEL:075-682-3201
FAX:075-682-3330
<http://www.mediawars.ne.jp/~saba>
Eメール:saba@mediawars.ne.jp
第1刷 号外
2011.03.25 発行
編集責任者 大崎雅彦

荒木君の話



ワークスの水曜日はいつも落ち着いた雰囲気比較的静かな空気です。彼はその日もブログを書いて、「明日は木曜日、込み込み木曜だね、また明日」なんて言いながら、いつもの様に 4 時半の送迎を少し待たせて帰りました。誰も疑わない「また明日」でした。その夜「救急車で病院へ運ばれた」の知らせを受けましたが、信じられませんでした。6ヶ月前まで体調を崩して休みが続いていたけれど、見事復活、そして日常生活に戻れて作業所にも普通に今までどおり、通いはじめて、文字通りの「復活」の日々でした。だから、今度も「大丈夫」、と疑いませんでした。しかし、彼のワークス復活はありませんでした。荒木君はワークス共同作業所が始まって 1 年後からのメンバーです。ホームページを作るのが彼のワークスでの仕事で数件のお客様を担当し、ワークス共同作業所のホームページも作っていました。また、さらに彼は知る人ぞ知る鉄道趣味「乗り鉄」な人でした。電動車イスに乗る彼自身の視点で駅情報を集め、おそらく鉄道各社や行政より早く WEB に掲載、新聞にも取り上げられるほどでした。彼にとってパソコンは、仕事、趣味、社会活動(スポーツ)等、生活にはなくてはならない物でした。地域で生活して職場(作業所)に通い、それ以外は趣味、スポーツにと動く中でも重要なツールだったと思います。作業所はそんな彼と共に仕事ができる本当によかったと思います。ありがとうございます荒木正幸君。



荒木さんの思い出

先に車椅子住宅に住んでいた荒木さんは、私が昭和 57 年の春に車椅子住宅に入ったところに、



お母さんと「おめでとう」と一番に来て下さった、あの頃の元気な顔が目には浮かんできます。

今年に入り体調を崩すこともあり、あの元気な顔がだんだん消えてきて・・・。

この作業所にくる前、太陽の家の作業にお母さんに送り迎えをしてもらっておられる時のうれしそうな顔がおもいだされます。ワークスのホームページの仕事はとても覚えこみが早くバツグンに出来ました。筋ジストロフィーが発症

してから苦しみを乗り越えながら、手厚い介護と、暖かい気持ちのヘルパーさんによくして頂いている事を喜んで、過ごして居たのが目に浮かびます。電動車椅子サッカーが好きで選手として活躍してついには、監督として責任感の強い横顔をみていました。心配している言葉は耳に入らずにやり通して、病気と闘ってがんばって生きてこられたことに金メダルをあげたいです。

岩本永子

2年前に入所してきて障害の重い人が多くて驚きました。荒木氏はその中でも障害が重く、生活するだけでも大変だと感じました。月日がたち、趣味(楽しみ)が私と同じ鉄道の研究だと知り、関心を持ちました。私は比較的自由に列車に乗り日本中を回りましたが、荒木氏は不自由なのに多くの列車に乗られたと聞きました。もっと鉄道の話を知りたいと思っていた矢先に、突然亡くなられたと知らされ、とても残念でした。

伊藤壽一

いつもパソコンをされていて楽しそうでした。
私は2年間のお付き合いでしたが寂しくなりました。
お疲れ様でした。ごゆっくりとおやすみください。ご冥福をお祈りします。

山崎優

荒木さんとは、作業所でいつも隣同士で仕事をしていたので、よく話をしていました。けっこう共通の話題が多くて、テレビのバラエティー番組やスポーツの話をよくしたのを覚えています。特に野球に関しての知識が富で、プロ野球、高校野球のことは昔の事もよく知っておられて、色々と教えてもらいました。亡くられる少し前に、「来年のプロ野球で、日ハムの斎藤と楽天の田中の投げ合いが楽しみやなあ」と嬉しそうにおっしゃっていたのが、すごく印象に残っていて、思い出されます。色々とありがとうございました。ご冥福をお祈り致します。

山中泰紀

荒木正幸君とは同年代で年齢も同じだった。毎日放送が大好きなことも共通していた。毎日放送のアナウンサーの話題で盛り上がったのを記憶している。僕はスポーツが嫌いなのだが、彼は電動車イスサッカーのプレーヤーでもあり、監督でもあった。彼に感心したのを覚えている。天国でも電動車イスサッカーを楽しんでほしい。

元所員 八木俊幸

荒木さんはワークスの送迎で一緒に来ていたけど筋ジスなのに長生きをされました。ただ入院時のコミュニケーション支援がもっと早くできていたらと思っています。長生きした分ゆっくり休んでください。

山崎信一

荒木さんは、電車男で全国の路線のことを何処でも聞くと即答で答えてくれました。今思うと本人が行かれた所やインターネットで、どこで調べられたのか、よく聴きません。本当に、全国の駅の話を知っていると、僕自身がその駅に立っているかのような錯覚するほど、詳しく話して下さいました。最後の最後まで、精一杯旅を楽しんでいましたね！！荒木さんと、電車のことを話していると楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。

小田垣顕

荒木さんとはワークスに来てから知りました。あまり話たりしませんでした。もっとたくさん荒木さんとの思い出を作っていたかったです。本当に思い出が出来たら良かったですがあまり荒木さんとの思い出を今から考えると話を聞いてもらって好きな話に答えてあげればよかったです。はじめは驚きました。少しずつ荒木さんとの距離が縮まってきたなと思ったら電話がかかって来てショックでした。

鈴木翔太

UCC ミルクコーヒー(缶)、昔よく飲んでたよね。違う飲み物に変えても〇〇オーレとか甘いものやった。ミスタードーナツの新商品が出ると「食べますう」といって昼食用に一緒に買ってきた。「オールドファッション抹茶」好きだったよね。これ期間限定で復刻したんだよ。なかなかの「甘党」やったねえ～(笑) 季節ごとに「あっ、これ好きやったよね」ってこれからも思い出されるよ。ご冥福をお祈りいたします。

石田久美

荒木さんはいろんな事をやっていた、障害者運動も一生懸命でした。趣味も電車のことは詳しく話をしていた。

土田五郎

荒木さんは、阪急電車のノリ鉄でしたね。
阪急電車のことなら良く知っておられました。
阪急電車の車種も知っておられたかと思います。僕もノリ鉄ですが、僕の場合は京阪電車オタクでグッツから毎年のカレンダーを買いに行ったり、時々までジカメで撮りに行きます。荒木さんには、電車のことなら負けました。

椿森信幸



荒木君のご冥福とワークスのこれからの発展をお祈りします。平成16年から仲間になりました。一緒に仕事や活動をしました。楽しかったです。ごめいふくをお祈り致します。

松田光博



荒木さんという非常に重度な障害が有るにも関わらず電動車椅子サッカーのチーム(ソニック)の監督をされていたことが印象深いです。私はそのチームのことを知った時というのは、ソニックは未勝利で無得点という正直弱いという印象のチームの監督でした。そんなチームを全国大会に出場出来るまでのチームに育て上げた名監督でした。私も一度そのチームの練習

に参加してみました。電動車椅子の操作の難しさとチームのメンバーが非常に若いという事で諦めました。まあその後、何度かサッカー談義もしましたが荒木さんは非常にサッカーに対する情熱や考えがあって私の方が話し負けるというような感じを持つ事もありました。荒木さんは全国制覇という非常に高い目標も持っておられました。そんな途中で亡くなってしまい非常に悲しかったというか、裏切られたような感じがしました。荒木さんならば直ぐではなくても全国制覇するチームまでに育て上げてくれると思っていましたよ。そして、PCの方でも非常に技術が高かったですよね。ホームページビルダーでは賞を受賞されていたみたいですからね。何時の日かホームページビルダーの事を教わりたいなあと感じていましたが、自分の技術の低さで教わるまでいけなかったですよ。あと電車大好きであった事が印象深いです。電車で何処かに行こうと思えば、先ずは荒木さんに相談してから考えようと私は勝手に思っていました。自分でホームページビルダーの技術が長けていたから、HPを立ち上げるほど本当に電車の事は詳しくあったのだと思います。

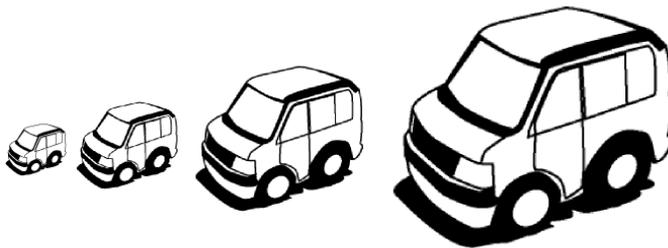
門野純平

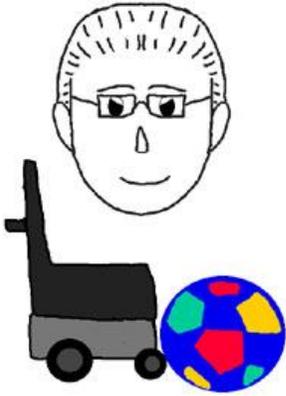


地域で暮らし続けた荒木さん

荒木さんが亡くなってはや、2 か月が過ぎました。でも、未だにワークスの戸を開けた瞬間、「今日は荒木さん来ておられるかな」と探している自分に出会います。荒木さんからはチョロ Q のこと、阪急電車のこと、電動車いすサッカーのこと、そして、ご家族のことなど、たくさん話を聞きました。次々ちがうものに興味を持つ私に、どんどん新しい情報を下さり、「何か手伝うことありますか」と声をかけて下さったりもして、所長のお休みの時などよく助けていただきました。また、荒木さんとはいろいろなところと一緒にきました。いつだったか障害者情報環境コーディネーターの試験をみんなで一緒に受けにいき、そしてみんなで一緒に滑りましたよね。難病「ALS」とデジタル回線「ISDN」が同じ選択肢に並ぶような、本当に不思議な試験でした。ALS については、さすがに荒木さんは詳しく、終わった後、答え教えてもらって「あーあまちがえた！」ってがっかりしたのも、今となっては、遠い昔の楽しい思い出です。今の事務所に移るすこし前、寒い冬に行われたアビリンピック京都大会で「HP作成部門」にて荒木さんが銅賞をとってこられた時は、自分のことのようにうれしかったです。ワークス共同作業所つくってよかったなどその時、ほんとうに思ったのです。荒木さんが、病院ではなく最後まで家で過ごしたいとお考えだと伺ったのは、ちょうど 1 年くらい前のことでした。だれよりも重い障害を持つ身体を、最後まで愛おしみ、大切に健康管理されていた荒木さん。「社会とつながり地域に生きること」の大切さを教えていただいたように思います。時々、荒木さんを思い出し、私も強い意志を持って、しっかりと人生を歩みたいと思います。

藤原久実





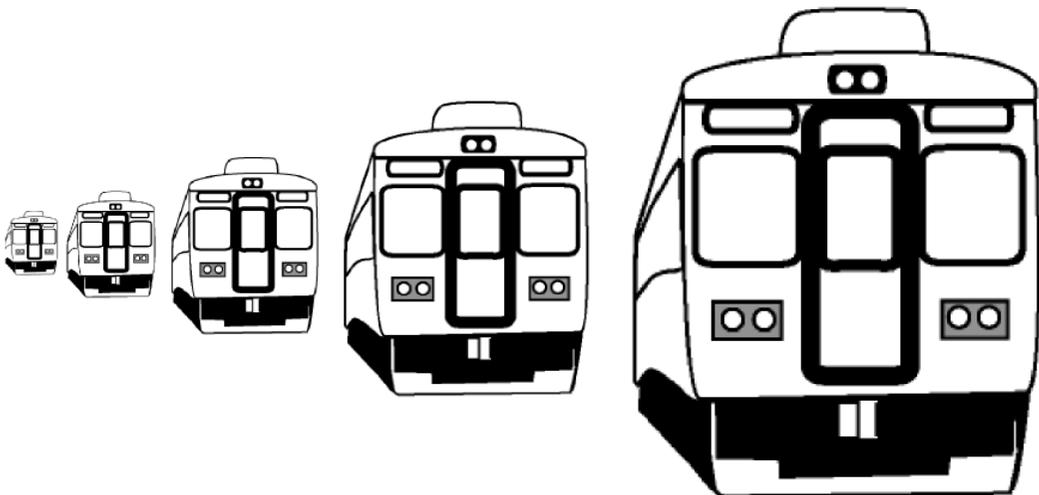
病気に負けずに、良く頑張りましたね。鉄道についてのホームページを作ったりもしておられましたね。

長い間病気との闘い、ご苦労様でした。去年の2月から4月まで体調を崩し、休まりました。あの頃から、段々面ざしが細くられました。その頃から、体力の消耗が激しくなられたのではないのでしょうか。その様子を見て、大分具合が悪そうだなあと思っていたのですが、まさか亡くなられるとは思っても掛けませんでした。貴方との思い出は、きっとワークスの仲間の心の中にいつまでも残るでしょう。

中嶋秀人

本当にびっくりしたよう。荒木君が亡くなるなんて、だってまた、会えると思っていたから。だからのんきに京都へ行くこともしなかった。でも本当ごめんね。あと一つ荒木君から教えてもらったHTMLほぼ忘れた。これもごめんね、そして先に亡くなった永井さんに天国で逢えたらよろしくね。そして残ったワークスのみんなへ、6年前にやめたこの俺が言わんでも分かっていると思うけど荒木君が亡くなって数日しかたっていないけど誰が欠けてもワークスという、チームは前に進まないと思います。だから大崎さんを先頭にして良い仕事をしていってください。ではまた。

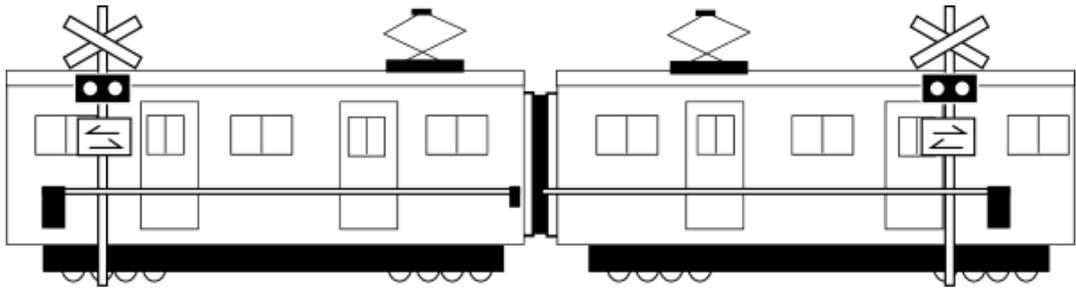
元所員 奥匡秀



荒木さん最後のブログ

今日は恒例の「ほてい市」の日、ワークスは静かです。
 午後からは、Yさんも別の用件で外出されたのでHNさん、Tさん、Sさん、Iさん、A、介助のMさん、Tさんだけになりなおさら静かになりました。その後、YNさんが2階での仕事、Fさんも来られました。
 JCIL本体から、ワークスカレンダーの注文がありました。
 個数が確定できていないそうで、先方の担当者より、のちほど連絡を下さいとワークスのカレンダー担当の方への伝言をご依頼いただきました。いくつお買い上げいただけるのか楽しみです。

留守番組の鉄道好き所員



編集後記

どこかへ出掛ける際に自分で調べて分からないことはいつも荒木さんに聞いていましたね。

荒木さんは方向音痴の私にも分かりやすいように道順やエレベータの場所を説明してくれました。また仕事の面でもアドバイスしてもらって、すごく助かったのを思い出します。楽しい思い出ばかりです。ありがとうございました。ご冥福をお祈り致します。

河野さつき